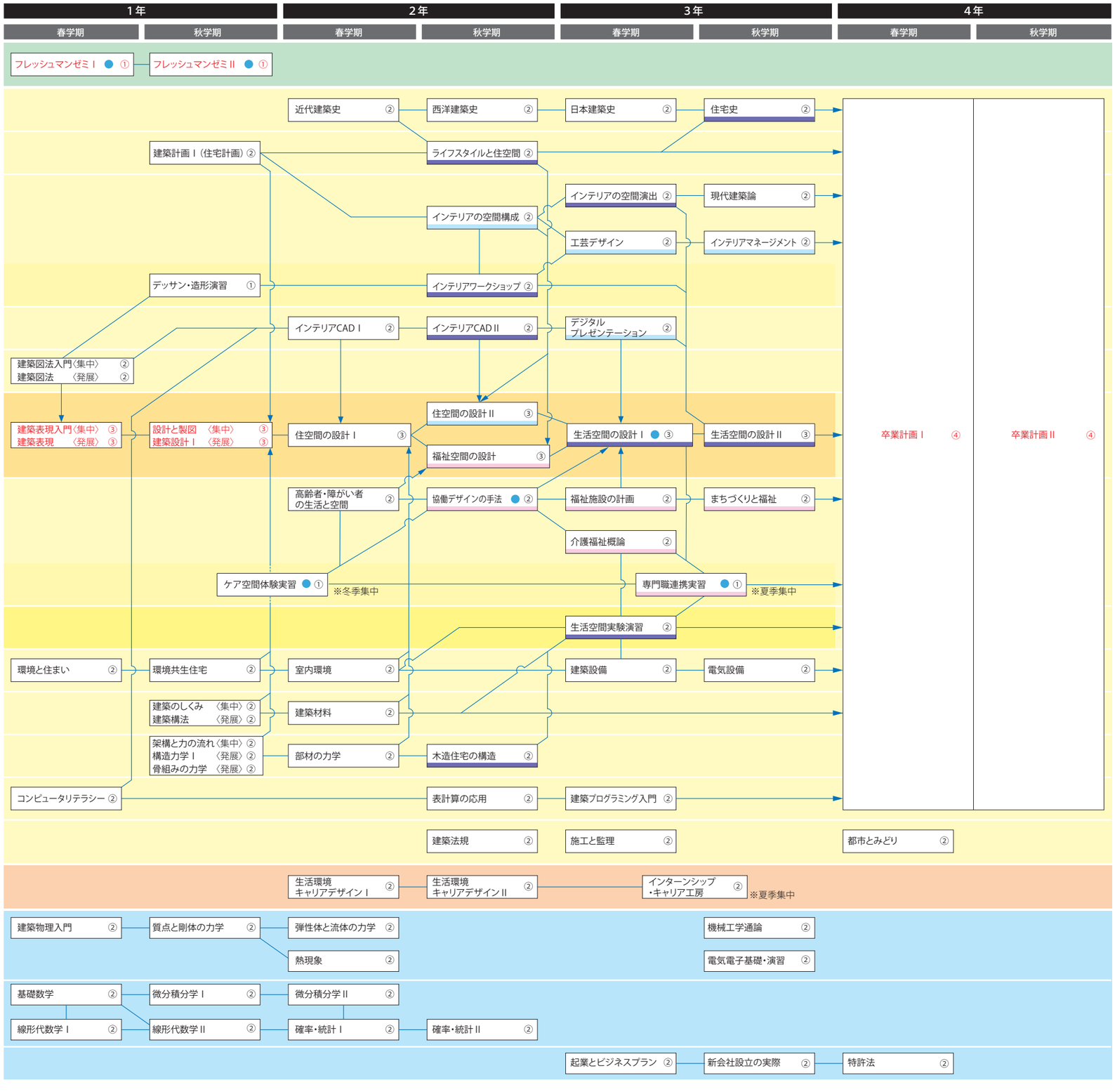
生活環境デザイン学科 カリキュラムマップ
H29年度

生活環境デザイン学科の目的・目標
心地よい住まいや、魅力的な商業空間を設計するインテリアデザイナー、お年寄りや障がいがある人も不自由なく暮らせるように、住環境の改善を担うコーディネーター、福祉施設の設計ができる建築家を養成します。
そのための専門コースとして＜住空間デザインコース＞と＜福祉空間デザインコース＞を用意しています。また、両コースに共通する科目を＜コア科目＞と位置づけています。

ディプロマポリシー
建築学などの技術を踏まえ、身近な生活環境の改善に取り組む専門家の養成を目的とします。まわりの人と、つらさやうれしさを共有し、その人の立場に立って空間を創造できる力が備わったことを卒業要件とします。

住空間デザインコース科目
コア科目
福祉空間デザインコース科目
赤字：必修科目
● 彩の国連携力育成プロジェクト関連科目

科目群の学習・教育目標		
導入科目	１年次の少人数クラスにて、建築・インテリア・福祉空間など、これから学ぶ多様な分野の概要について理解を深める。	
建築史	建築や住宅の歴史を学び、それらを生み出した社会的構造を背景として考えることで、時の流れを超えてグローバルな視点から現代の空間を理解する基盤を築く。	
計画	快適で使いやすい空間を創造するために、人の生活・活動・行為との関係を理解するとともに、その文化的・社会的背景について学ぶ。	
デザイン	インテリアおよび建築のデザインについて、その特性を検討し実践するための理論と知識を学ぶ。さらにはデザインが求められる状況や、デザイナーの社会的役割と思想について理解し、現代的な提案につなげる考え方を身につけることができる。	
	実習・制作	家具制作などの実習・体験を通して、ものづくりの技術とセンスを原寸大で学び、身につける。
作図法	三次元の立体や空間を図面やCGに表現する感性と技術を習得する。	**CAD** CADを用いて図面を描き、魅力的なプレゼンテーションを作成する能力を習得する。
		図学 立体をイメージし、表現するためのさまざまな図法を習得する。
設計製図	分野の多様な知識を総合し、建築空間の提案にまとめる構想力と表現力を養う。	
福祉空間	高齢者や障がい者を含む誰もが安心して快適に暮らせる空間デザインに関する理論を学び、生活の中での問題を改善し、新たなニーズに応えることができる知識と思考力を身につける。住宅や施設の設計からまちづくりまで、生活をトータルにサポートする空間づくりを行うための力を養う。また、様々な人と連携して課題を解決するための知識・技術をみにつける。	
	体験・実習	医療・福祉の現場での実習・体験を通じて、人と向き合う態度や連携する技術を身につける。
実験演習	建築・インテリアで用いられる仕上げ材料および構造材料、空間の環境的特性、ユニバーサルデザイン等の空間に関わる性能を実験により検証し、分析・考察することができる。	
環境・設備	建築および都市空間に関わる環境的な現象・問題と設備のしくみについて理解し、環境に配慮した人と地球に優しい空間を計画することができる。	
材料・構法	建築・インテリアを構成するさまざまな材料の特性と性能について理解するとともに、建築の架構形式・施工方法について学び、快適な空間を実現させる技術を習得する。	
構造	安全な建築を実現するために、建築物に生じる力学的な現象を把握し、応力と反力の計算方法を習得する。	
コンピューター	コンピューターを使うための基礎と、研究や分析・解析に応用する技術を習得する。	
実務的知識	建築に関わる社会的制度や現場の業務など、建築の実務において必要な知識を身につける。	
キャリアデザイン	さまざまな職種の職業性について学び、自分の将来像を幅広く展望した上で、卒業後の進路について自ら考え決定することができる。	
工学系の基礎科目	物理・数学を中心とした工学の教養的知識と思考力、問題解決能力を身につける。	**物理科目 他の工学分野** 建築空間にかかわるさまざまな物理的現象を定量的に理解するための基礎力を身につけるとともに、関連する工学分野の基礎知識を習得する。
		数学科目 数式・記号などのもつ意味を理解し、幾何学・関数・解析・微分積分などの基本的な概念を理解し、論理的思考に基づいた計算法を習得する。
起業関係科目	実践的な新会社の設立・運営に関する取り組みを学ぶとともに、技術情報を活用するために適切な基礎知識を身につける。